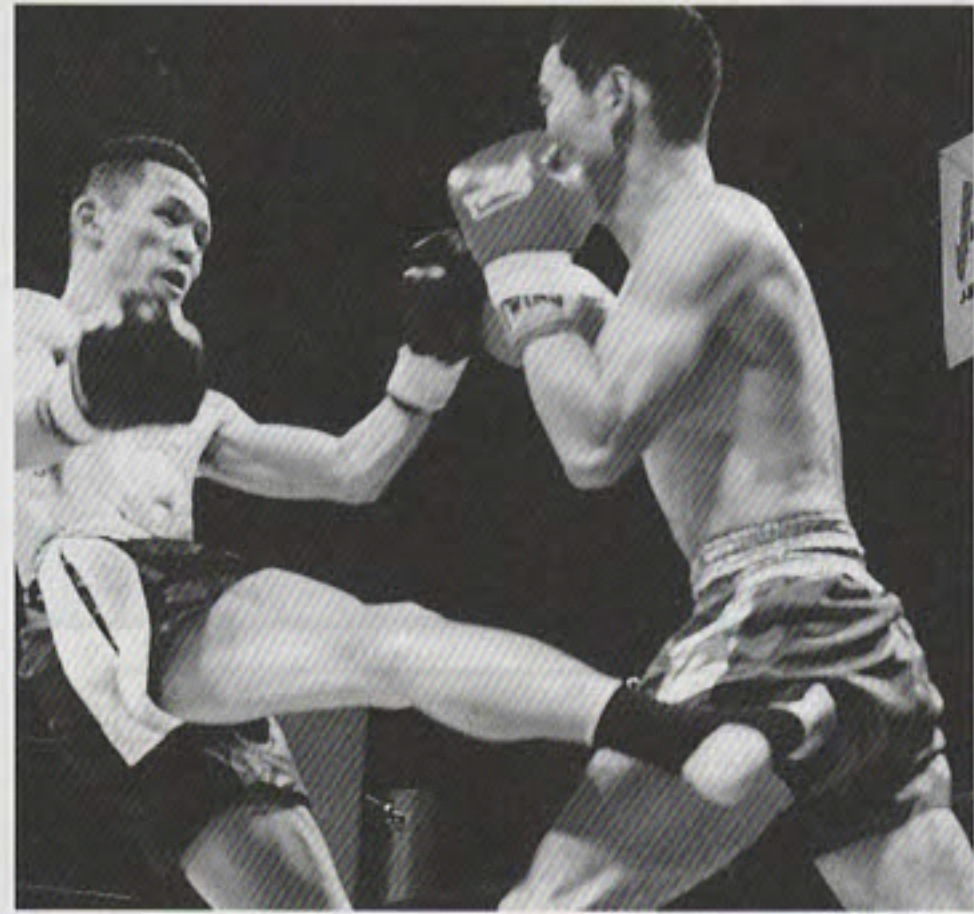


# J-NETWORK MAKING THE ROAD-II

●日時/2001年2月16日(金)  
●場所/東京・北沢タウンホール  
●主催/J-NETWORK

▼積極的にローとパンチで前に出た西山に、井上もローを返し、カウンターでパンチを狙っていく。



## 白熱の対抗戦は、 MA王者・井上に 軍配!

リアル  
レンジ  
ジャッジサポート

無敗のままわずから戦で王座に駆け上がり、その後も順調に勝ち星を重ねてきた、J-NET Tライト級王者の西山誠人と、MAキックの苦勞人、堅実な巧さが光るMAライト級王者の井上が一騎討ちを果たした。

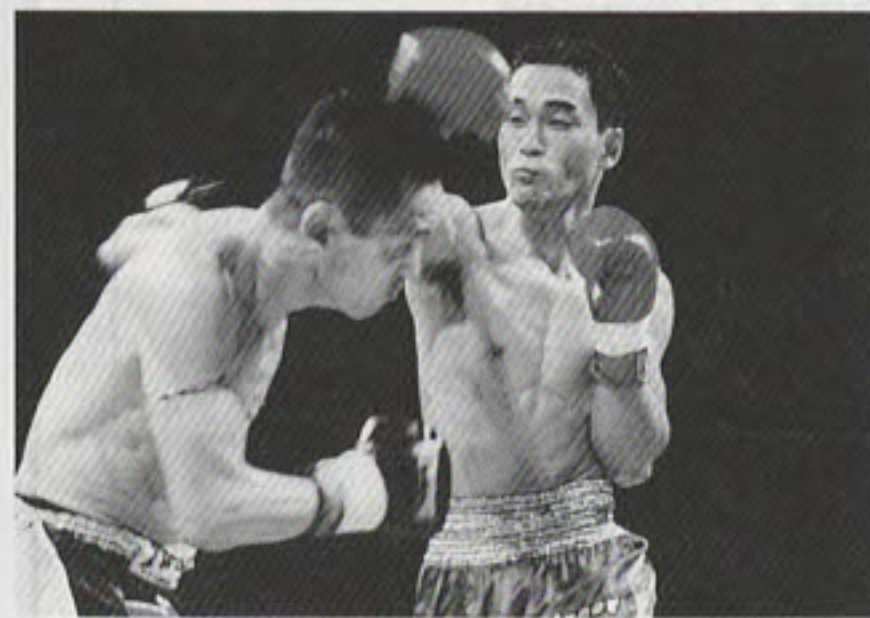
タイプの似た両者だけに、初回から伯仲した良い勝負が展開した。

積極的にローとパンチで前に出た西山に、井上もローを返し、カウンターでパンチを狙っていく。井上のパンチは西山の出端を挫き、1ラウンド中盤以降、西山は思うように前に出ていけなくなった。

2Rに入ると、西山はパンチで早い勝負に出た。得意のストレートが的確に井上の顔面を捉えていく。井上は、パンチで接近してヒジ狙いだ。しかし、このラウンドの打ち合いは西山に分があり、彼のストレートに阻まれて、井上は今一歩が踏み込めない。

西山優勢でラウンドが進むかに見えた矢先だった。パンチを躲して相手の懐に飛び込んだ井上が、左のフックから右のヒジを二閃。このヒジが、大きく西山の眉間を切り裂いた。ドクタ―が「10針は行くんじゃないか」と診断したほどに切られた西山には、当然ストップがかかり、

▲2R、西山はパンチで早い勝負に出た。得意のストレートが的確に井上の顔面を捉えていく。



井上のTKO勝利となった。

井上は、試合後のリング上で「今日はまたま僕が勝っただけ。西山選手は、グローブを合わせてみて、本当に強い選手だと分かった。リマツチをやるなら、僕は逃げも隠れもしません」と語り、控室に帰った後も「西山選手のパンチは強かった。警戒していたが、結構もらって1Rからイイ気持ちになってました(笑)。自分としては、もう最初から右のヒジ狙いで、そればかり練習してました。対抗戦と言うこともあり、ベルトを獲ったときよりも嬉しい」と、ホッとした表情で語っていた。(文・寺西勉/写真・薄田秀明)



▲同様に井上は西山の得意なストレートを喰らった。三回戦は、井上がTKO勝ち。

### RESULT

2分30回戦

○倉本武雄(アクティブ) [判定 3-0]

×碓氷早矢手(ソーチャタラ) [判定 0-2]

×太郎(アクティブ) [判定 0-2]

○藤田(アクティブ) [判定 0-0]

△内田秀樹(サバイイ町田)

3分30回戦

○北野裕治(ソーチャタラ) [判定 3-0]

×ステルス牧野(MA/山木)

3回戦

○長谷川康世(アクティブ) [判定 3-0]

×サンダー(MA/マイウェイ)

×西山誠人(ソーチャタラ) [TKO 2R 1-2]

○井上哲(MA/山木)